

# 建設委員会

ニュース

第09号

発行日  
2018年  
1月1日

施設建設委員会全体会議

## イベント開催は、大阪城ホールで！ 条件付き開催計画決まる。

平成29年11月27日(月)午後7時から谷町福祉センター2階で泉州聴覚障害者センター(仮)建設委員会全体会議が開かれました。会議では、3,000万円の資金作りのうち、50円募金の割り当て見直し案と500万円を作るイベントの開催場所が大阪城ホールに条件付きで決まりました。

### 清田委員長挨拶

まず、施設建設委員会委員長の清田廣氏から、「建設委員会を設けて、目標金額など出ているがまだ具体的な形や案が出ていない状況。イベントで作る500万円に対しては、来年の大阪で開かれる、全国ろうあ者大会が終わった後の晩にイベントをやる方向で進めている。

2回の施設建設委員会事務局会議ではいろいろな意見、疑問が出てきた。前回の事務局会議では、アステムの大嶋社長、小林企画部長に来ていただいて、説明してもらった。アステムは経験があり、イベント準備や5千人の入れ替えは難しくないので、要員が必要となるとということなので、具体的な案をまとめて進めていき

い。」と挨拶がありました。

### 50円募金割り当て目標決まる。

9月30日の建設資金達成決起集会で決まった数字について、少し曖昧なところがあったので、下記のように数字を再提示しました。

☆ 法人関係 2000口

☆ 大阪聴覚障害者協会 3000口

・ 執行代議員以上 1000口

・ ブロック 2000口

(大阪市60口、北摂30口、

京阪30口、河内30口、泉州50口)

この案に対し、この募金は強制でないことの確認がされたうえで承認を得ることができました。また、会

### 必要な資金全体の金額は？

- 全体資金調達 合計 1億1,000万円
  - ・ 法人：中期事業積立金から 5,000万円
  - ・ 大阪聴覚障害者協会から 2,000万円
  - ・ 後援会から(通常の活動収入より) 1,000万円
  - ・ 施設建設募金(募金、イベント等の開催等) 3,000万円
- 3,000万円募金計画
  - ① 大聴協 750万円  
(大阪市、泉州ブロックが180万円、北摂、京阪、河内ブロック130万円)
  - ② イベント 500万円
  - ③ 街頭募金5回 500万円
  - ④ 50円募金 500人(1日50円×1年半×500人)
    - ・ 法人職員・家族等 200人
    - ・ 各ブロック・協会役員等 300人

計担当からこの寄付に対しては、社会福祉法人への寄付ではなく、法人後援会施設建設委員会への寄付になるので、税金免除は出来ないと報告がありました。

### イベント計画案について討議

イベントの開催日については、全国ろうあ者大会が終了した日(6月10日午後6時半予定)に実施する計画と、その案が出来るまでの経緯について、磯野大阪聴覚障害者協会副会長(全国ろうあ者大会実務責任者)から報告があり、参加者から質問や疑問が出され、それらについての説

明や回答がされました。(囲み記事参照)他に、コンサートなどのイベントでは、ろうあ者はわからない、興味ないと積極的でない。結局、サークルなどの聞こえる人の負担が重くなる不満が出てくる。また、ここにいる協会役員と地域役員や一般会員との温度差がかなりあるように見えるなどの意見がありました。これらは真摯に受け止めて対応していきたいとなりました。

最後に法人の佐藤専務理事から、アステムは2、30年も前から全日本ろうあ連盟や大聴協や、障害者の支援を行っている会社。他の会社と比べて障害者に対して理解があると思う。

1万人コンサートのときも「無理だ。無理だ。」と言われていたが、回るころを回るなど計画して進めてきた。「きょうされん」では、300枚チケットを買ってもらえた。

(裏に続く)



磯野大阪聴覚障害者協会副会長

「ほくほく」は出来た時、週2回だけ来られるろうあ者がいたが、巡回バスを出すようになってから毎日来られるようになった。職員もみな手話が上手になりスムーズに交流ができるようになった。

このように、施設には地域のろうあ者や手話に携わる人の生活を変える力がある。みんなの力で早く泉州に施設建設するために頑張ろうとの意見がありました。

## 条件付きで 大阪城ホール開催承認

これらの意見交換、質疑応答の結果、アステムから歌手を紹介された時点で、成功の見通しを持てる歌手かどうかを吟味し、全国大会の最終日の6月10日夜にイベントを開くか、(事務局に日程変更を任せて)別の日に開催するかを最終的に判断することを条件に、全国ろうあ者大会最終日の夜にイベントを開くことが賛成15票、反対2票、保留7票で決まりました。



## 経過等報告に対する質疑応答

問 このイベントは全国ろうあ者大会の資金不足を補うイベントなのか、施設建設のためのイベントなのかはつきりしない。もし収益が500万に満たなかった場合、その差額はどうなるのか? 全国大会の方に回されるのか、不明。

答 全国ろうあ者大会で借りている夜の時間を提供して開催したい。施設建設のためのイベントなので、収益の500万円は施設建設に回す。500万円を超えた分は相談の上、全国大会の資金に回す額を決める。500万円に満たなかった場合は、すべて施設建設のほうに回す。収益が500万円に満たなかった場合、別の方法で500万円になるよう頑張らなければならない。

問 本当に入れ替えがスムーズにできるのか? 全国ろうあ者大会では久しぶりに会ったろうあ者同士の会話やなにやらで、そんなにスムーズに入れ替えできるか不安。

答 こちらも不安はあるが、出入り口が多数あると知っているし、指定席制にして、混乱が起これないようにする等対策を考えている。今までにも経験があるといっているので信用するしかない。



問 要員は必要とする人数が確保できるのか。手話が出来るとなると限られてくる。アルバイトなどを雇うという話も聞いたがそのお金はどこから出すのか。要員もサークル関係者は知っているから参加費を払って要員協力をやるが、参加費を払わなくても構わない要員がおられる場合は不公平ではないか。

答 全国ろうあ者大会の要員は、協会、大通研、手話サークル以外に専門学校、学生等にボランティアを頼むつもりだが、このイベントでは全く関係ない人をお願いするつもりはない。

アルバイトを雇うかどうかは1万人集会の時雇ったことがあるので、会場の入れ替え等で雇うことも出来るという話があっただけで決まっていらない。開催が決まれば、いろいろな条件を判断して決めたい。

問 全国ろうあ者大会に参加した人も、イベントに参加してもらえないように予めセットすることは出来ないのか。

答 連盟に対して問い合わせたが、全国ろうあ者大会は会員限定のイベント。大会の案内にイベントの情報を付け加えて宣伝するくらいしかできない。

ただ、全国大会参加者の中からも、大阪見物で泊まる人達がいるので、この人達を巻き込むような方法を考えたいと思っている。

問 今までのイベントから考えて、本当に3,000人も集めることができるのか。

答 吉本新喜劇だと500人くらい、ハンドサインや手話パフォーマンスだと1,000人くらい。黙っていても集まるような人(ファンが多い人)だとかなり有名な歌手になる。出演料等の問題を調整しなければならぬし、スケジュール調整や契約など時間がかかるので、早く、やるかやらないかを決める必要がある。12月いっぱい決まらぬと宣伝や、チケット販売が出来なくなる。

